

世田谷区本庁舎等整備 区民の安全・安心を支える拠点として ー新型コロナ対策からみた新庁舎ー

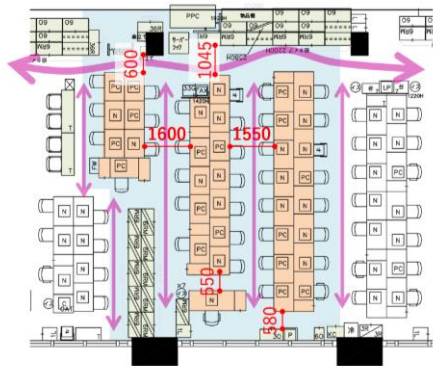
3密（密集、密閉、密接）を回避し、職場内感染リスクを低減し、感染症対策窓口や通常業務の継続に資する。

ポイント1

ユニバーサルデザインに配慮した適正な執務面積を確保し、執務室における職員間の距離を適切に取り密度を下げることに
より、職場内での感染リスクを低減する。

現庁舎

密集回避が困難のため、感染者発生時に業務
継続が不可能となるリスクを軽減するため、
課内の係を複数班に分けて、他係と混在させ
るなど工夫している。

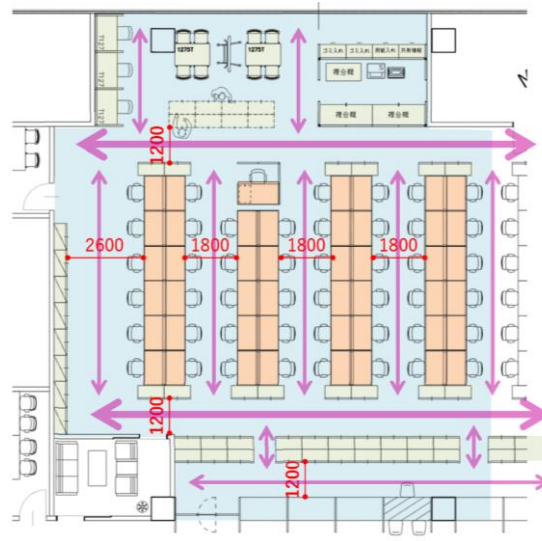


職員一人あたり庁舎面積
9㎡/人

※図面は現庁舎・新庁舎とも同一縮尺。

新庁舎

UD動線に配慮したレイアウトにより、職員間の
距離を適切に取り、感染リスクを低減できる。



職員一人あたり庁舎面積
18㎡/人

※図面は現庁舎・新庁舎とも同一縮尺。

